

特別プログラム

※本号（ ）内のページ数を掲載しております。

	プログラム／抄録	
代議員総会・会員総会・評議員会	P.21	—
学会賞（シミック賞）受賞講演	P.21	—
市民公開講座	P.21	P.75
特別講演	P.22	P.76
学会記念シンポジウム	P.23	P.78
シンポジウム	P.24	P.82
サテライト共催シンポジウム	P.33	P.148
ランチョンセミナー	P.34	P.149
イブニングセミナー	P.37	P.158
特別企画	P.38	P.163
日本エイズ学会認定講習会	P.38	—
HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師講習会	P.39	—
第6回世界エイズディ・メモリアル・サービス	P.39	P.164
日本性感染症学会・日本エイズ学会合同シンポジウム	P.40	—

※セッション別に掲載しております。

■日時：11月25日（金） 13：15～14：15

■会場：A会場（県民ホール）

※学会賞（シミック賞）・ECC 奨励賞の授賞式および、ECC 奨励賞の授賞発表予定

学会賞（シミック賞）受賞講演

■日時：11月25日（金） 14：15～14：45

■会場：A会場（県民ホール）

市民公開講座

■日時：11月23日（水） 14：00～16：00

■会場：C会場（中ホール）

市民公開講座

HIV 感染症のこれから～
知と愛と人と

座長

橋口照人（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 教授
鹿児島大学病院 HIV 対策室 室長）

■演者：

- 1 鹿児島県における現状
古川良尚
鹿児島大学病院 輸血・細胞治療部 部長
- 2 ここまで進んだ HIV 治療薬
屋地慶子
鹿児島大学病院 薬剤部 薬務主任

- 3 共に歩こう
小山徹平
鹿児島大学病院 臨床心理室 助教
- 飯田昌子
鹿児島大学法文学部人文学科 准教授
- 今村葉子
特定非営利活動法人 Rin かごしま 理事長
- 4 自由討論

共催：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科・
鹿児島 HIV 感染症研究会

特別講演

■日時：11月24日（木） 13：30～14：30

■会場：A会場（県民ホール）

特別講演 1

座長 馬場 昌範（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科）

■演者：

Molecular basis for an HIV Cure

Jonathan Karn

Case Western Reserve University

■日時：11月25日（金） 10：45～11：45

■会場：A会場（県民ホール）

特別講演 2

座長 山本 政弘（国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター）

■演者：

Advances in Treatment of HIV Infection

Jan van Lunzen

Global Medical Director, ViiV Healthcare

学会記念シンポジウム

■日時：11月25日（金） 14：45～16：30

■会場：A会場（県民ホール）

学会記念 シンポジウム

日本エイズ学会 30 年の歩み

座長

松下修三（熊本大学エイズ学研究センター）
満屋裕明（国立国際医療研究センター研究所）

■演者：

SMS-1 LAV から HIV へ

栗村 敬

島根県済生会高砂ケアセンター

SMS-2 HIV 診療 30 年の歩み — 不易流行

木村 哲

東京医療保健大学

SMS-3 社会的病としてのエイズとその対策

— 混沌から共存へ 35 年の歩み

池上千寿子

特定非営利活動法人 ぶれいす東京

シンポジウム

■日時：11月24日（木） 9：15～10：45

■会場：A会場（県民ホール）

シンポジウム 1 （臨床）

未来の ART

座長

松下修三（熊本大学エイズ学研究センター）
古川良尚（鹿児島大学病院 輸血・細胞治療部）

■演者：

- S1-1** Cabotegravir + Rilpivirine as Long-Acting Injection Maintenance Therapy: data from LATTE-2 study
Jan van Lunzen
Global Medical Director, ViiV Healthcare
- S1-2** 注射剤による治療の可能性
塚田訓久
国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

- S1-3** HDACi による shock and kill
白川康太郎
京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科
- S1-4** 中和抗体を用いた HIV 感染症の治療を目指した新規治療法の開発
松下修三
熊本大学エイズ学研究センター

■日時：11月24日（木） 10：45～12：15

■会場：A会場（県民ホール）

シンポジウム 2 （臨床） 認定講習会（医師）

HIV 診療で重要な合併疾患：
ウイルス肝炎と梅毒について

座長

三田英治（大阪医療センター 消化器科）
今村顕史（がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科）

■演者：

- S2-1** HIV 感染症に合併するウイルス肝炎
治療と予防
四柳 宏
東京大学医科学研究所 先端医療研究センター
感染症分野
- S2-2** 梅毒、今そこにある危機
西島 健
国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター

★なお、本シンポジウムは日本エイズ学会の医師認定制度における学会教育研修プログラムです

シンポジウム

■日時：11月24日（木） 14：45～16：15

■会場：A会場（県民ホール）

シンポジウム 3 (臨床)	HIV 感染者の加齢と癌	座長 南 留美（国立病院機構九州医療センター 免疫感染症内科） 湯永博之（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）
------------------	--------------	--

■演者：

S3-1 HIV 感染者と Premature Aging
～脂質代謝、動脈硬化性病変を中心に～
南 留美
国立病院機構九州医療センター 免疫感染症内科

S3-2 HIV 感染者の骨
湯永博之
国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

S3-3 カポジ肉腫とリンパ腫
片野晴隆
国立感染症研究所 感染病理部

S3-4 HIV 陽性者における肛門管癌の早期発見と治療
井戸田一朗
しらかば診療所

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

■日時：11月24日（木） 14：45～16：15

■会場：B会場（大ホールA）

シンポジウム 4 (基礎)	HIV reservoir と cure	座長 明里宏文（京都大学 霊長類研究所・人類進化モデル 研究センター） 岩谷靖雅（独立行政法人国立病院機構 名古屋医療セン ター 臨床研究センター 感染・免疫研究部）
------------------	----------------------	--

■演者：

S4-1 Is HIV-1 persistent OR/AND
latent in vivo?
Yoshio Koyanagi
Institute for Frontier Life and Medical Sciences,
Kyoto University

S4-2 次世代シーケンスによる HIV-1
プロウイルス解析
佐藤賢文
熊本大学 国際先端医学研究施設 エイズ学研究センター

S4-3 HIV 潜伏感染霊長類モデルの樹立及び
リザーバー細胞の探索
明里宏文
京都大学 霊長類研究所・人類進化モデル研究センター

S4-4 サルエイズモデルにおけるウイルス複製の長期制御メカニズム
俣野哲朗
国立感染症研究所 エイズ研究センター

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

シンポジウム

■日時：11月24日（木） 14：45～16：15

■会場：C会場（中ホール）

シンポジウム 5 （社会）

HIV/AIDS 対策における
Human Rights-Based
Approach (HRBA) の意義、
可能性、課題

座長

大北全俊（東北大学大学院医学系研究科）
東 優子（大阪府立大学 地域保健学域）

■演者：

S5-1 HIV/AIDS なぜ human rights か
大北全俊

東北大学大学院 医学系研究科

S5-2 エイズ対策における人権への配慮
その実績と課題

樽井正義

特定非営利活動法人 ぶれいす東京

S5-3 HIV/ エイズ予防・治療介入に対する
権利基盤型アプローチ(RBA)の概要
とその効果・課題

岡島克樹

大阪大谷大学 人間社会学部

S5-4 HIV/AIDS と「人権」

花井十伍

特定非営利活動法人 ネットワーク医療と人権

■日時：11月24日（木） 17：30～19：00

■会場：A会場（県民ホール）

シンポジウム 6 （基礎）

HIV と免疫

座長

滝口雅文（熊本大学 エイズ学研究センター）
俣野哲朗（国立感染症研究所 エイズ研究センター）

■演者：

S6-1 Development of an effective
HIV-1 T-cell vaccine through
targeting conserved regions of
the HIV-1 proteome

Tomas Hanke

The International Research Centre for Medical
Sciences, Kumamoto/UniversityThe Jenner
Institute, University of Oxford

S6-2 An Analysis of the Transfer of
Potent And Broad Anti-HIV-1
Neutralizing Mono clonal
Antibodies Raises Optimism for
an Effective HIV Vaccine

Masashi Shingai

Research Center for Zoonosis Control, Hokkaido
University

S6-3 Anti-SIV neutralizing antibodies:
T-cell/B-cell synergism in
induction and protection

Hiroyuki Yamamoto

AIDS Research Center, National Institute of
Infectious Diseases

S6-4 Impact of a Single HLA-A*24:02-
associated Escape Mutation on
HLA-B*35:01-associated HIV-1
Control and T cell Adaptation

Hayato Murakoshi

Center for AIDS Research, Kumamoto University

シンポジウム

■日時：11月24日（木） 17：30～19：00

■会場：F会場（大研修室3）

シンポジウム7 （社会）	HIV/AIDSにおける Human Rights-based Approach と健康：非犯罪化とハームリダクションの有効性と日本社会の現実	座長 東 優子（大阪府立大学 地域保健学域） 日高庸晴（宝塚大学）
-------------------------	---	---

■演者：

S7-1 薬物使用者支援の支援から

倉田めば

特定非営利活動法人 大阪ダルク・アソシエーション/
Freedom

S7-3 トランスジェンダー支援の視点から

宮田りりい

特定非営利活動法人 関西エイズ対策協議会（KAC）

S7-2 セックスワーカー支援の視点から

鍵田いずみ

SWASH

S7-4 非犯罪化とハームリダクション（概説）

東 優子

大阪府立大学 地域保健学域

■日時：11月24日（木） 17：30～19：00

■会場：G会場（大研修室4）

シンポジウム8 （臨床）	HAART から 20 年 - 薬剤師が果たしてきた役割と今後の展望	座長 吉野宗宏（独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター） 嶺 豊春（長崎大学病院）
-------------------------	------------------------------------	---

■コメンテーター：

木平 健治

日本病院薬剤師会

■演者：

S8-1 HAART 以前に薬剤師が果たした役割
ー薬害から考えるー

畝井浩子

広島大学病院 薬剤部

S8-3 拡充するチーム医療～地方における
HIV 診療の実践例をもとに～

阿部憲介

国立病院機構仙台医療センター 薬剤部

S8-2 HAART 黎明期から考える現在への指針
井門敬子

愛媛大学医学部附属病院薬剤部

S8-4 薬剤師に期待される今後の展望

栞原 健

国立国際医療研究センター病院 薬剤部

★なお、本シンポジウムは、日本病院薬剤師会認定の HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師講習会です

シンポジウム

■日時：11月25日（金） 9:00～10:30

■会場：A会場（県民ホール）

シンポジウム 9 （臨床）

HAND：病態・病理と日本に
おける疫学

座長

橋口照人（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
血管代謝病態解析学）
辻 麻理子（国立病院機構九州医療センター
心理療法士室）

■演者：

S9-1 HANDにおける臨床神経病態
三浦義治
がん・感染症センター都立駒込病院 脳神経内科

S9-2 HANDの神経病理学
出雲周二
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
難治ウイルス研分子病理病態研究分野

S9-3 日本における HIV 関連神経認知障害
（HAND）の疫学研究（J-HAND 研究）
から見てきた日本人 HAND の特徴
木内 英
国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター

■日時：11月25日（金） 9:00～10:30

■会場：B会場（大ホールA）

シンポジウム 10 （基礎）

HIV envelope を標的とした
感染防御

座長

吉村和久（国立感染症研究所 エイズ研究センター）
桑田岳夫（熊本大学 エイズ学研究センター）

■演者：

S10-1 塩基配列から見る HIV envelope の進
化戦略：赤の女王国の住民のジレンマ
椎野禎一郎
国立感染症研究所 感染症疫学センター

S10-2 HIV envelope の構造と動的性質
横山 勝
国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター

S10-3 HIV envelope の構造変化を
ターゲットとした阻害剤の創製
玉村啓和
東京医科歯科大学
生体材料工学研究所生体機能分子研究部門

S10-4 中和抗体の逆襲：攻撃は最大の防御と
なるか
吉村和久
国立感染症研究所 エイズ研究センター

シンポジウム

■日時：11月25日（金） 9:00～10:30

■会場：C会場（中ホール）

シンポジウム 11 （社会）	エイズ・アクティビズムの バトン ―薬害エイズを巡る 活動を拡げ、受け継ぐ―	座長 岡本 学（独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター） 牧園祐也（Love Act Fukuoka / 公益財団法人エイズ予防財団）
---------------------------------	---	---

■演者：

S11-1 患者会の機能①セルフケア

金子 智

一般社団法人 全国腎臓病協議会

S11-2 患者会の機能②情報発信

若生治友

特定非営利活動法人 ネットワーク医療と人権

S11-3 患者会の機能③アドボケイト

高久陽介

特定非営利活動法人

日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス

■日時：11月26日（土） 9:00～10:30

■会場：A会場（県民ホール）

シンポジウム 12 （基礎）	ピックアップ演題による ワークショップ	座長 塩田達雄（大阪大学 微生物病研究所） 宮川 敬（横浜市立大学医学部微生物学）
---------------------------------	--------------------------------------	---

■演者：

S12-1 NanoBRET 法を用いた生細胞内
HIV-1 Gag の多量体化解析および
結合宿主因子探索

宮川 敬

横浜市立大学医学部微生物学

S12-2 APOBEC3G による HIV-1 逆転写
伸長反応抑制作用の検討

岡田彩加

国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター
感染・免疫研究部、エイズ予防財団

S12-3 アクセサリー蛋白質に対する免疫淘汰
圧がウイルス複製に与える影響

豊田真子

熊本大学エイズ学研究センター

S12-4 抗 HIV 療法における核酸系逆転写酵
素阻害剤の腸内細菌叢への影響に関
する研究

大出裕高

国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター
感染・免疫研究部

S12-5 KU-241 が前例を見ない程強力な
抗 HIV 作用を発揮する機序の解析

林 宏典

国立国際医療研究センター研究所
難治性ウイルス感染症研究部

シンポジウム

■日時：11月26日（土） 9:00～10:30

■会場：C会場（中ホール）

シンポジウム13 （臨床） 認定講習会（看護師）

ケアにつなげる面談技術
～性感染症に関する面談に
ついて～

座長 前田ひとみ（熊本大学大学院）
高山次代（石川県立中央病院）

■演者：

S13-1 東 政美
NHO 大阪医療センター

S13-2 宮城京子
琉球大学医学部附属病院

★ なお、本シンポジウムは日本エイズ学会認定 HIV 感染症看護師・HIV 感染症指導看護師制度における学会教育研修プログラムです

■日時：11月26日（土） 9:00～10:30

■会場：D会場（大研修室1）

シンポジウム14 （社会）

HIV/AIDS に関する
「異なる記述」の探求：
対象、捉え方、手法

座長 大北全俊（東北大学大学院医学系研究科）
日高庸晴（宝塚大学 看護学部）

■演者：

S14-1 ライフストーリーを話し聴き合うこと
の力ー当事者として共に在ること/ 語り
継ぐことの社会学ー
大島 岳
一橋大学大学院 社会学研究科

S14-2 HIV カウンセリング / ソーシャルワ
ークの 30 年：その実践倫理と政治性を
直視することで見えるもの
横田恵子
神戸女学院大学 文学部総合文化学科

S14-3 1990 年代の男性同性間の性行為に
おける HIV 予防対策の転換期の考察
～今後の HIV/AIDS の研究、施策の
ために～
砂川秀樹
明治学院大学 国際平和研究所

シンポジウム

■日時：11月26日（土） 13:15～14:45

■会場：A会場（県民ホール）

シンポジウム15 (臨床) 認定講習会 (医師・看護師)	治療の手引き	座長 満屋裕明（国立国際医療研究センター研究所） 岡 慎一（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター） 白阪琢磨（国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター）
--	--------	---

■演者：

S15-1 What's new

白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター
HIV/AIDS 先端医療開発センター

S15-2 Regimen 選択（初回及び変更） の最近のトレンド

福島一彰

がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

栞原 健

国立国際医療研究センター病院 薬剤部

横幕能行

国立病院機構名古屋医療センター エイズ治療開発センター

矢倉裕輝

国立病院機構大阪医療センター 薬剤部

宮川寿一

熊本大学医学部附属病院 感染免疫診療部

S15-3 PrEP について

水島大輔

国立国際医療研究センター エイズ治療研究センター

S15-4 まとめ

満屋裕明

国立国際医療研究センター研究所

★ なお、本シンポジウムは日本エイズ学会の医師認定制度ならびに日本エイズ学会認定 HIV 感染症看護師・HIV 感染症指導看護師制度における学会教育研修プログラムです

シンポジウム

■日時：11月26日（土） 13：15～14：45

■会場：B会場（大ホールA）

シンポジウム 16 (基礎)	複製・伝播を制御する新たなプレイヤー	座長 小柳義夫（京都大学ウイルス研究所 ウイルス病態研究領域） 鈴 伸也（熊本大学エイズ学研究センター 国際先端医学研究拠点施設）
-------------------	--------------------	--

■演者：

S16-1 HIV-1 キャプシドコア構造体崩壊を制御する宿主因子群～それらの理解の深化から HIV-1 感染制御への展望～
武内寛明
東京医科歯科大学 医歯学総合研究科ウイルス制御学

S16-2 新規抗ウイルス宿主因子 MARCH8
徳永研三
国立感染症研究所 感染病理部

S16-3 Tunneling nanotubes を介した HIV-1 伝播
鈴 伸也
熊本大学エイズ学研究センター
国際先端医学研究拠点施設

S16-4 Overcoming viral evasion from host restriction factors: Targeting HIV access ory proteins
梁 明秀
横浜市立大学医学部大学院 医学研究科微生物学

■日時：11月26日（土） 13：15～14：45

■会場：C会場（中ホール）

シンポジウム 17 (社会)	HIV 感染時代の陽性者支援の様々なチャンネルのあり方—医療、コミュニティーなど様々な場所での支援を保障するには—	座長 牧園祐也（Love Act Fukuoka / 公益財団法人エイズ予防財団） 山中京子（大阪府立大学 地域保健学域教育福祉学類）
-------------------	---	--

■演者：

S17-1 鹿児島県における HIV 陽性者の現状～ピアミーティングを通して 現在、これから～
山田健二
特定非営利活動法人 RIn かごしま

S17-2 電話相談を利用する陽性者の状況
田淵靖浩
人権と共生を考える エイズ・ワーカーズ・福岡

S17-3 地方で暮らす HIV 陽性者の社会生活上の課題と解決への支援—MSWの立場から
首藤美奈子
国立病院機構九州医療センター
AIDS/HIV 総合治療センター

S17-4 地方の中核拠点病院における陽性者支援の現状—カウンセラーの立場から—
長浦由紀
長崎大学病院

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

サテライト共催シンポジウム

■日時：11月25日（金） 18:00～19:30

■会場：城山観光ホテル：飛天の間

サテライト共催
シンポジウム

新たな NRTI：TAF 製剤の役割

座長

満屋裕明（国立国際医療研究センター研究所）
岡 慎一（国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター）

■演者：

SCS-1 湯永博之

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

SCS-2 塚田訓久

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

共催：鳥居薬品株式会社 /
日本たばこ産業株式会社

ランチョンセミナー

■日時：11月24日（木） 12：15～13：15

■会場：B会場（大ホールA）

ランチョン セミナー 1

Dolutegravir at the core

座長 三浦聡之（ヴィーブヘルスケア株式会社
メディカル・アフェアーズ部門）

■演者：

LS1 Jan van Lunzen
Global Medical Director, ViiV Healthcare

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社 /
塩野義製薬株式会社

■日時：11月24日（木） 12：15～13：15

■会場：C会場（中ホール）

ランチョン セミナー 2

HIV 感染症に対する遺伝子治療
法の開発とタカラバイオの臨床
開発パイプライン及び注力事業
分野の紹介

座長 峰野純一（タカラバイオ株式会社 常務取締役）

■演者：

LS2 蝶野英人
タカラバイオ株式会社 CDM センター

共催：タカラバイオ株式会社

■日時：11月24日（木） 12：15～13：15

■会場：D会場（大研修室 1）

ランチョン セミナー 3

Non-clinical profile of a
novel prodrug of tenofovir,
TAF

座長 馬場昌範（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科）

■演者：

LS3 Eisuke Murakami
Gilead Sciences, Inc.

共催：鳥居薬品株式会社 /
日本たばこ産業株式会社

ランチョンセミナー

■日時：11月25日（金） 12:00～13:00

■会場：B会場（大ホールA）

ランチョン セミナー 4

治療長期化時代のプロテアーゼ
阻害薬の位置づけ

座長 満屋裕明（国立国際医療研究センター研究所）

■演者：

LS4

湯永博之

国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター

共催：ヤンセンファーマ株式会社

■日時：11月25日（金） 12:00～13:00

■会場：C会場（中ホール）

ランチョン セミナー 5

HIV 患者をとりまく長期合併症
最新トピックス

座長 白阪琢磨（国立病院機構大阪医療センター
HIV/AIDS 先端医療開発センター）

■演者：

LS5-1

HIV 感染者の腎機能障害と骨密度低下

共催：MSD 株式会社

木内 英

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

LS5-2

HCV/HIV 重複感染への治療
～最新の知見～

四柳 宏

東京大学医科学研究所 先端医療研究センター
感染症分野

■日時：11月25日（金） 12:00～13:00

■会場：D会場（大研修室1）

ランチョン セミナー 6

HIV 感染症の早期予防を支える
早期診断と治療

座長 松下修三（熊本大学エイズ学研究センター）

■演者：

LS6-1

臨床医からみた HIV 検査法の進歩と
判定方法

共催：アリーア メディカル株式会社 /
鳥居薬品株式会社

和田秀穂

川崎医科大学 血液内科学

LS6-2

HIV 検査に基づいた早期治療・感染
予防について

宮川寿一

熊本大学医学部附属病院 感染免疫診療部

ランチョンセミナー

■日時：11月26日（土） 12：00～13：00

■会場：B会場（大ホールA）

ランチョン
セミナー7

HIV 陽性 CKD 患者の腎移植

座長

横幕能行（国立病院機構名古屋医療センター
エイズ治療開発センター）

■演者：

LS7

後藤憲彦

名古屋第二赤十字病院 第一移植外科

共催：鳥居薬品株式会社

イブニングセミナー

■日時：11月24日（木） 17：30～19：00

■会場：B会場（大ホールA）

イブニング セミナー 1

全例治療時代を迎えた HIV 感染症～腎機能保持と透析療法の課題～

座長 白阪琢磨（国立病院機構大阪医療センター
HIV/AIDS 先端医療開発センター）

■演者：

ES1-1 全例治療の時代における HIV 感染例の腎機能保持における課題
西島 健
国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

ES1-2 HIV 合併 ESRD 症例の課題と福岡県における維持透析施設との連携構築の実践
山本 政弘
国立病院機構九州医療センター
AIDS/HIV 総合治療センター
共催：鳥居薬品株式会社 /
日本たばこ産業株式会社

■日時：11月24日（木） 17：30～19：00

■会場：C会場（中ホール）

イブニング セミナー 2

HIV 感染症と Aging

座長 岡 慎一（国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター）
松下修三（熊本大学エイズ学研究センター）

■演者：

ES2-1 HIV 感染者の高齢化に伴う問題点と対策
潟永博之
国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

共催：MSD 株式会社

ES2-2 老化からみた生活習慣病の治療方策
南野 徹
新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学

■日時：11月24日（木） 17：30～19：00

■会場：D会場（大研修室 1）

イブニング セミナー 3

アドヒアランス長期継続を支えるチーム医療

座長 立川夏夫（横浜市立市民病院 感染症内科）

■演者：

ES3-1 辻 麻理子
国立病院機構九州医療センター
心理療法士室

共催：ヤンセンファーマ株式会社

ES3-2 井戸田一朗
しらかば診療所

特別企画

■日時：11月26日（土） 10：45～11：45

■会場：A会場（県民ホール）

特別企画

HIV/AIDS prevention
work with Transgender in
Malaysia

座長 東 優子（大阪府立大学 地域保健学域）

■演者：

Nisha Ayub

SEED Foundation Malaysia

日本エイズ学会認定講習会

認定講習会一覧

日時	時間	会場	セッション	テーマ
11月24日(木)	10:45～12:15	A会場 (県民ホール)	シンポジウム 2 (医師)	HIV 診療で重要な合併疾患： ウイルス肝炎と梅毒について
11月26日(土)	9:00～10:30	C会場 (中ホール)	シンポジウム 13 (看護師)	ケアにつなげる面談技術 ～性感染症に関する面談に付いて～
11月26日(土)	13:15～14:45	A会場 (県民ホール)	シンポジウム 15 (医師・看護師)	治療の手引き

認定講習会一覧

日時	時間	会場	セッション	テーマ
11月24日(木)	17:30~19:00	G会場 (大研修室 4)	シンポジウム 8 (薬剤師)	HAART から 20 年 -薬剤師が 果たしてきた役割と今後の展望

第6回世界エイズディ・メモリアル・サービス

■日時：11月25日(金) 16:45～17:45

■会場：C会場(中ホール)

第6回世界エイズディ・
メモリアル・サービス

～生命(いのち)をつなぐ～

■企画者：

今村葉子、岡元利通(特定非営利活動法人 Rin かごしま)と有志

■日時：11月26日（土） 9：00～11：45

■会場：B会場（大ホールA）

日本性感染症学会・
日本エイズ学会合同
シンポジウム

HIV と梅毒—梅毒の急増に
対して、今何をすべきか